

特別展 花^{わら}咲い、風の吹くらん

2024年4月13日(土)～6月2日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

咲き誇る花、花を散らす風や雨、皓々と照る秋の月、降りしきる冬の雪など、自然がみせる美しい風物。移りゆく自然の美しさに惹かれた人々は、これらに心を寄せて詩歌に詠み、自らの心情を投影してきました。また絵画に描きあらし、工芸品を彩る要素としても、日本のみならず東洋の美的生活を支える基盤となってきました。

雪月花をはじめ、風や雨など変化に富んだ自然現象に注目して、古典文学や絵画・工芸にみられる風雅の世界を紹介します。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 指定欄の「◎」は国宝です。
- 展示替欄に記載のないものは、全期間展示します。
前期:4/13～5/12 後期:5/14～6/2
- 所蔵欄の「蓬左」は名古屋市蓬左文庫、無印は全て徳川美術館所蔵です。

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
1	いろは手本 近衛信尹筆		桃山-江戸 16-17	
花、咲う				
2	老梅蒔絵書物箱		江戸 17	
3	籬梅蒔絵手箱		室町 16	
4	◎ 胡蝶蒔絵枕香炉	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸 寛永16年<1639>	
5	吉野凶屏風 二曲一双 狩野常信筆	徳川齊温(尾張家11代)所用	江戸 17	前期:右隻 後期:左隻
6	西行物語絵巻(海田采女本 模本) 六巻の内 巻春 詞書 伏原宣條筆 絵 甘露寺規長・篤長筆		江戸 安永4年<1775>	
7	古今和歌集 伝冷泉為之筆		室町 15	
8	蠟色散り桜銀金貝大小刀鞘 一对		江戸 19	
9	流水に桜図透赤銅鐺 銘 大岡政次(花押) 大岡政次作		江戸 17	
10	波に桜図鉄鐺 銘 長州萩住知賢作		江戸 19	
11	花筏図赤銅鐺		江戸 17	
12	今様花鳥風月 大判錦絵(三枚続) 溪斎英泉画		江戸 天保期<1830-44>	
13	牡丹図屏風 八曲一双		江戸 17	
雨、降る				
14	和漢朗詠集 二巻の内 上巻 後二条天皇筆		鎌倉 14	個人蔵
15	雨中嵐山図 田中訥言筆		江戸 19	個人蔵
16	雨中嵐山図 田中訥言筆		江戸 19	
17	香木 伽羅 銘 春雨		東南アジア	
18	香木 寸門陀羅 銘 小雨		東南アジア	
19	香木 羅国 銘 夜の雨		東南アジア	
20	香木 真南蛮 銘 初時雨		東南アジア	
21	香木 真那賀 銘 村時雨		東南アジア	
22	香木 伽羅 銘 木の葉雨 中院通村命銘		東南アジア	
23	昇龍図 三幅対の内 伝狩野探幽筆		江戸 19	前期
24	雲龍図 三幅対の内 狩野山雪筆	吉田友昭氏寄贈	江戸 17	後期
25	唐物茶壺 銘 夕立 大名物	徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用	南宋-元 13-14	
26	古薩摩茶壺 銘 初時雨		桃山 17	
27	古瀬戸茶壺 銘 夕時雨		江戸 19	
28	紅葉時雨之図(戸山庭園餘慶堂奉侍時席画) 二幅対 狩野典信筆		江戸 天明4年<1784>	
29	萌黄地稻穂に稻妻文金欄半切		江戸 18	
星、光る				
30	端溪北斗七星硯		北宋 12-13	
31	油滴天目(星建蓋)		南宋 12-13	
32	七夕蒔絵手箱		室町 15	
33	鞍馬山僧正ヶ谷之図 大判錦絵(三枚続) 佐野屋喜兵衛板 歌川貞秀画		江戸 19	

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
風、吹く				
34	花鳥図簾屏風 果樹文存星格狭間 六曲一双の内		明治19年<1886>	
35	古今和歌集 伝二条為氏筆	浄光院従君(5代将軍綱吉正室)・ 徳川吉通(尾張家4代)所用	鎌倉 13	
36	源氏物語絵巻 宿木(三) 詞書第一紙 現状模写(東京藝術大学本) 上野直美筆	上野直美氏寄贈	平成22年<2010>	
37	源氏物語絵巻 宿木(三) 絵 現状模写(東京藝術大学本) 上野直美筆	上野直美氏寄贈	平成22年<2010>	
38	西行物語絵巻(海田采女本 模本) 六巻の内 巻秋 詞書 伏原宣條筆・絵 甘露寺規長・篤長筆		江戸 安永4年<1775>	
39	和漢朗詠集抄 伝伏見天皇筆		鎌倉 13-14	
40	墨竹図 二幅対の内		明 15-16	前期
41	風竹図 三幅対の内 狩野山雪筆	吉田友昭氏寄贈	江戸 17	後期
月、照る				
42	五字一行書「明月来相照」 徳川宗春(尾張家7代)筆		江戸 18	
43	有明の月画賛 徳川斉昭(水戸家9代)筆・同賛		江戸 19	
44	唐草文箔絵月に兔図染付入硯屏		明 16-17	
45	黎溪月兔硯(裏面)		明 16-17	
46	端溪雲月彫硯 銘 月ノ硯		北宋 12-13	
47	木地松に月図硯箱 徳川光友(尾張家2代)筆	松平義真(梁川松平家3代)所持	江戸 17	
48	竹林残月図屏風 六曲一隻 田中訥言筆		江戸 19	個人蔵
49	月に竹図屏風 二曲一隻 渡辺清筆	吉田友昭氏寄贈	江戸 19	
50	源氏物語絵巻 橋姫 詞書一・二 現状模写(東京藝術大学本) 前田力筆	前田力氏寄贈	平成18年<2006>	
51	源氏物語絵巻 橋姫 絵 現状模写(東京藝術大学本) 龍口経太筆	龍口経太氏寄贈	平成17年<2005>	
52	武蔵野蒔絵貝桶・合貝 一对		江戸 17	
53	赤銅月透銀印籠		江戸 19	
54	月に秋草図 鳥居清忠筆	徳川家寄贈	明治-大正 19-20	
55	月に薄図 岡村葵園筆	徳川家寄贈	明治-昭和 19-20	
56	安政二年当座和歌		江戸 安政2年<1855>	
秋草そよぎ、紅葉染まる				
57	秋の野蒔絵手箱	徳川光友(尾張家2代)所用	鎌倉 13-14	
58	秋野図屏風 六曲一双の内		江戸 18-19	個人蔵
59	紅白段檜垣に秋草文唐織(子方用)		江戸 18	前期
60	白地秋の野文唐織(子方用)		江戸 17	後期
61	白地青海波に紅葉文縫箔		江戸 18	前期
62	白地落葉に紅葉折枝文縫箔		江戸 18	後期
63	波に紅葉図透鉄罫 銘 武州住守恒		江戸 18	
64	色鍋島竜田川図皿		江戸 18	個人蔵
65	萱に露図透鉄罫		江戸 19	
66	籬に菊蒔絵手箱		桃山-江戸 16-17	
67	菊の白露蒔絵小箱四合	清泰院大姫(加賀前田家4代光高正室)所用	江戸 寛永10年<1633>	
雪、積もり、やがて消えゆく				
68	詠草「雪を詠める」 松平楽翁(定信・白河松平家3代)筆		江戸 19	
69	雪梅図 三幅対の内 狩野山雪筆	吉田友昭氏寄贈	江戸 17	後期
70	雪に牡丹図 二幅対 神谷晴真筆		江戸 19	個人蔵
71	雪中鴛鴦図 岡本柳南筆	岡本柳英氏寄贈	明治32年<1899>	前期
72	銀雪松水滴		江戸 19	
73	篠雪図三所物 筭 無銘 宗乗(後藤家2代)作 目貫・小柄 無銘 顕乗(後藤家7代)作		桃山 16	
74	鶏雪柑子図三所物		江戸 18-19	
75	雪紋透鉄罫	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸 17	
76	雪華図説 水野正信著「青牘叢書」巻八十二所収 百四冊の内 土井利位著		江戸 19	蓬左
77	薄水色麻地雪輪に柳橋・苺萱文浴衣	徳川家康(駿府御分物)着用	江戸 17	前期
78	薄水色麻地雪輪に柳橋・苺萱文浴衣(復元) 染色:松木真澄氏 縫製:森大三江氏		平成10年<1998>	前期
79	赤地震に雪持松紅葉文唐織		江戸 19	後期
80	木瓜紋散蒔絵手箱		室町 15-16	
81	志野山水文茶碗 銘 残雪	木下家寄贈	江戸 17	
82	和漢朗詠集 二巻の内 下巻 伝冷泉持為筆		室町 15	